

アグリサイエンスバレー常総 「農業の6次産業化による まちづくり」

令和5年10月20日

茨城県常総市



「道の駅常総」

常総市について

【地形】

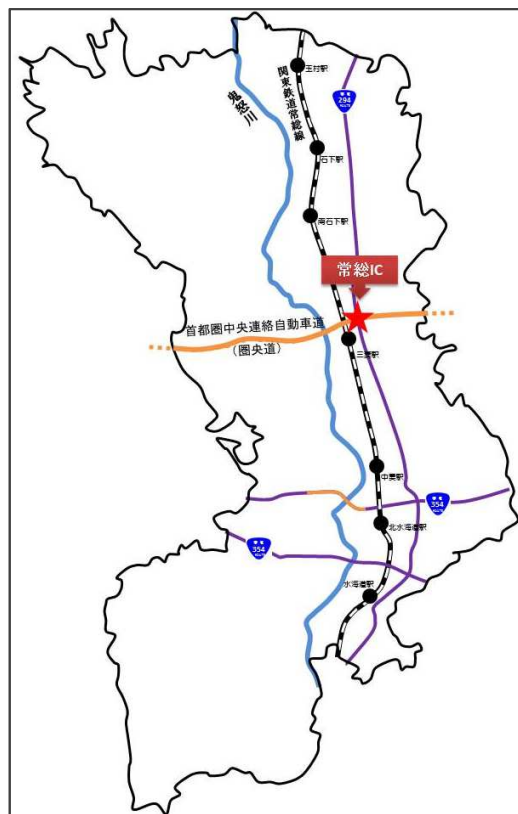
- ・市の面積123.64km²
東西約10km, 南北約20km
(面積の約半分が農地)

【人口・世帯数】

- ・人口 59,451人
※ R 3 出生数256人, 死亡数724人
- ・世帯 23,244世帯
(令和5年7月1日現在常住人口調査)

【沿革】

- ・平成18年1月1日に合併
(水海道市, 石下町)



自動車での所要時間

- A 東京駅まで約60分 (約50km)
- B 成田空港まで約60分 (約65km)
- C 羽田空港まで約60分 (約60km)
- D 茨城空港まで約60分 (約60km)

常総市の課題

農業の振興

産業の振興

人口減少

水害からの復興

などなど



アグリサイエンスバレー 構想



都市エリア
土地区画整理事業

圏央道

国道294号

農地エリア
土地改良事業

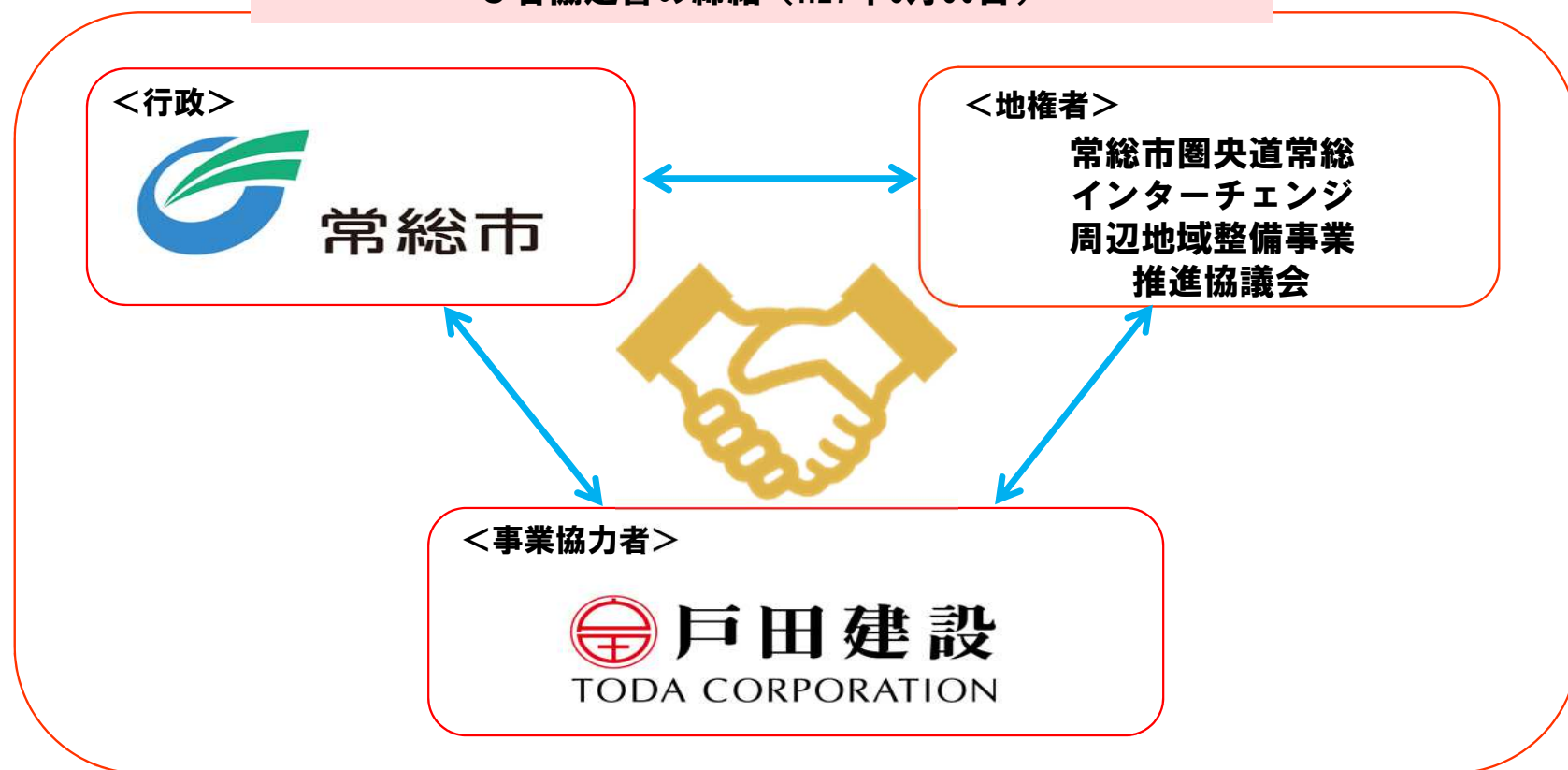
常総IC

圏央道常総インターチェンジ周辺の約45haに「①農地エリア」と「②都市エリア」を形成し、生産・加工・流通・販売が一体となった地域産業の核となる産業団地を形成。

“常総市の新たな玄関口”として「食と農と健康」をテーマに6次産業化を軸としたまちづくりと地域活性化を目指すプロジェクトです。

官民連携体制（PPP）による事業の推進

3者協定書の締結（H27年6月30日）

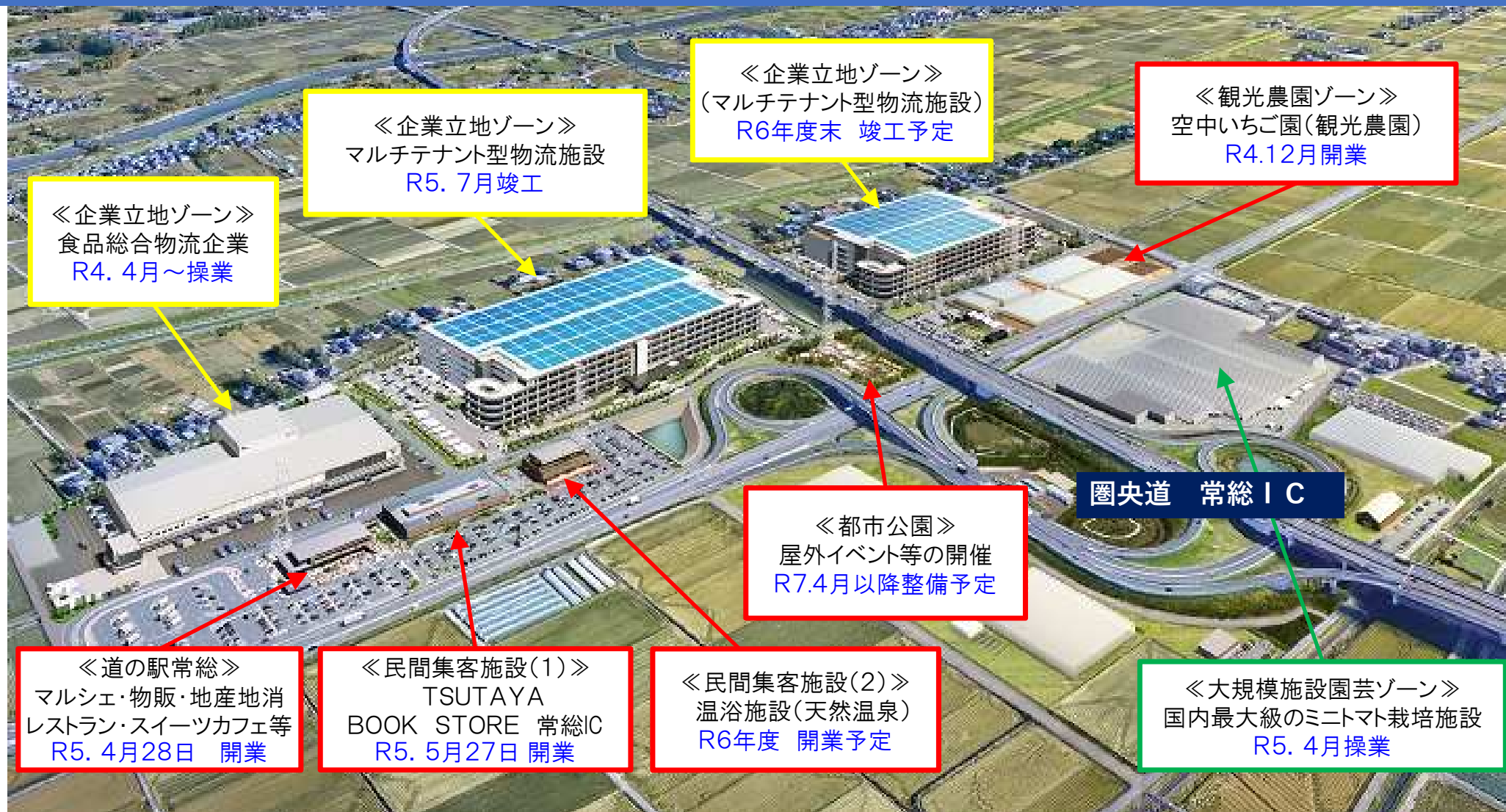


常総市と事業協力者・戸田建設(株)と地権者による推進協議会の3者が一体となって、官民連携で取り組む事業（PPP事業）

官民連携における公共と民間のメリット例

公 共	民 間
<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="53 539 918 774">■ 行政課題の解決 豊富で優れたノウハウ・資産を活用し、民間事業者と連携することで、行政課題に対する解決力が高まる <li data-bbox="53 845 996 1093">■ コスト削減 民間事業者が初期投資の一部を負担することで、公共の負担軽減(資金, 人的コスト)に寄与する <li data-bbox="53 1165 963 1356">■ 事業実行性 民間事業者の経営ノウハウを活用し、経営判断の迅速化と事業遂行力が高まる	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="1135 539 2049 734">■ 社会課題解決への参画 民間事業者の社会貢献活動の推進, 企業イメージの向上が図れる <li data-bbox="1135 813 2105 1061">■ 新規事業・新規参入市場の創出 公共との連携により, 官民連携事業に対する新規参入や公共の資産を活用した新規事業の創出が期待できる <li data-bbox="1135 1141 2094 1340">■ 社会的信頼性の確保 公共との連携による, 地域や住民に対する信頼性が確保される

2023年5月 アグリサイエンスバレー常総の「まちびらき」



収益性に優れた農業モデルが展開される農地エリア

ミニトマトの大規模施設園芸

オランダ型のビニールハウス

- (軒高6m 延べ面積約5ha)
- ・暖房効率UP、生育環境の安定
 - ・デジタル技術（センサ・PC等）を活かした栽培管理、省力化
 - ・労務管理の徹底（働きやすい農業）



選果機で糖度管理の徹底
スケールメリットを活かした
営農＝いかに**同品質のものを安定して市場出荷**できるか

リフト式栽培による空中イチゴ園



栽培ベッドを昇降式に栽培ベッドを密に並べ、通路にする部分のベッドを上昇させることでイチゴ狩りを展開
面積当たりの収穫量が**1.7倍**に向上



6次産業化にも挑戦
敷地内にはカフェも展開
イチゴをスムージーやケーキ、パフェなどに加工し、**価値を高めて販売**

産業
団地

雇用を創出する産業団地

2022年4月から操業中



2023年7月 竣工



にぎわい

官民連携で、地域を支える集客エリアを整備



TSUTAYA BOOKSTORE 常総インターチェンジ

2023年5月27日オープン





茨城県内16番目の道の駅 道の駅常総 グランドオープン！！

～食農楽のおすびまち 輝くえがおをつむぐ駅～



4/28 グランドオープン



多くの来場者で
連日の賑わいを見せる道の駅

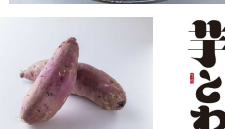
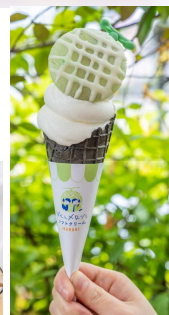
大型連休中には
約7万人が来場！

いばらき
米から米
come ~ come



「体験型 食のテーマパーク」

常総産・茨城産食材の魅力がたっぷりの
農産物直売所 お食事処 各種専門店！



芋
お



常総
いなほ食堂



たまご屋
TAMAGOYA
常総 レストラン



道の
DELI
Kitchen



アグリサイエンスバレー事業が地域経済へもたらす波及効果

地域の基幹産業 農業の再生・発展

- 農業進出企業3社
年間生産高 約14億円
- 農業生産の年間生産性高
稲作から約27倍増加

企業誘致による 雇用創出・税収増加

- 雇用創出：約2,000人
- 税収増加：約3億円

人口流出の抑制

- 働く場・生活の場の創出
- 魅力ある地域づくり

地域の関係人口の増加

- 道の駅を中心とした
年間来訪者：約100万人

地域産業の新たな創出

- 企業の立地・新規参入
- 「農」の新事業の創出拠点

ご清聴ありがとうございました

